



# なごみ つつしん

2013年

創刊号

## 広報誌「なごみつつしん」創刊

医療法人 河和会（コウワカイ）パークサイドなごみは平成23年9月1日より開設した介護老人保健施設です。

開設から1年8ヶ月が過ぎ、たくさんの方に支えられながらも老健施設としての機能を果たせるよう、また、利用者様やそのご家族に喜んで頂けるよう職員一同奮闘しております。

そんな中、パークサイドなごみでの様々な取り組みや活動を、より多くの方々に知っていただきたく、広報活動の一環として広報誌「なごみつつしん」を創刊致しました。ホームページやソーシャルネットサービスの活用と共に、定期的な発行を心がけていきたいと思っておりますので、またご一読いただければ幸いです。

まだまだ発展途上の施設ゆえ、皆様方には色々とお不便やお迷惑をお掛けすることも多いかと思われませんが、職員一同心を込めて精一杯努めて参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

施設長 柄川 武子



## 介護老人保健施設ってどんなところ？

介護施設と言っても実に様々な種類の施設があります。実際施設を探される方にとって、細分化された多種多様な介護施設の中から、ご本人に必要なサービスが提供される施設を特定することは専門家のアドバイスなしでは困難でしょう。「パークサイドなごみ」は介護保険三施設（介護保険を使って入所できる施設の総称。実は介護保険を利用して入所できる施設サービスは3つだけなのです。）の内、「介護老人保健施設」略して「老健」という類型になります。

では「老健」とはこういった施設なのでしょう？

介護保険法によると、「介護老人保健施設は、施設サービス計画に基づいて、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話を行なうことにより、入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにすることとともに、その者の居宅における生活への復帰を目指すものでなければならない。」とあります。簡単に言えば、「一定期間入所して、リハビリや介護を受け、出来ることは自分でやって自宅へ復帰することを目指しましょう。」という解釈になります。

その趣旨どおり老健は在宅復帰を目指すため、医師、看護師、介護職員、理学療法士、管理栄養士、ケアマネージャー、支援相談員など様々な職種を配置しており、食事や入浴のサービスの他、必要な看護や介護を受け、リハビリをしながら入所中はもちろん、退所後まで利用者様やそのご家族を支援していきます。

このことから、「終身の生活の場」ではないという事も言えますが、利用者様の今後をご家族と一緒に考えていく事が支援業務の一つですので、在宅復帰という形だけが全てではなく、場合によってその方にとって相応しい施設等への橋渡しを役割として担うことも考えられます。

「老健」とは、利用者様やご家族にとって“安心の暮らし”を取り戻すための「中継地点」なんですね！

## 取り組み紹介 今回は「レクリエーション」

レクリエーションは高齢者の緊張や不安を取り除き、他人同士を結びつけていくことや、機能訓練としての効果があります。そして、何より楽しんでいただく事が一番です。当施設では毎日プログラムを組んでレクリエーションを実施。唄や芸術、ゲームなど様々な事にチャレンジしてもらっています。

（写真はボランティア講師によるハーモニカ）



介護老人保健施設

パークサイド  
**なごみ**

医療法人河和会

大阪市東住吉区公園南矢田3-19-12  
tel 06-6606-2211  
http://psnagomi.com